アーティストプロファイル

MASAKI HIROKAWA

廣川政樹

現代美術家・デジタルクリエイター

dolice.net

現代美術家・デジタルクリエイター

国際芸術賞 17 冠のグラフィック／現代美術家・アプリデベロッパー。欧州・アジア・米州での展示や、美術書・国際誌への掲載を通じて、日本特有の祈りを背景に、集団心理と認知世界の構造、根源意識を主題として制作している（独立アプリ事業：累計 5,000 万 DL・月間 AU 300 万人超｜創業者／経営・制作統括）。

BIOGRAPHY

略歴

廣川政樹は、日本のマルチ分野にまたがるアーティスト、UI/UX デザイナー、そしてアプリ開発者である。創作活動は、ビジュアルアート、デジタルメディア、インタラクティブテクノロジーを横断している。

1997 年に独学で Web デザインとプログラミングを学び始め、1999 年に株式会社国和システムへ DTP オペレーターとして入社。2002 年には株式会社 NTT DATA にてプログラマー／システムエンジニアとして基幹システム開発に従事し、2005 年よりフリーランスとして独立した。以降、Web デザイン、プログラミング、グラフィック制作、インタラクティブムービー制作など、幅広い領域で活動を展開する。

2006 年、MTV SO-ZO コンペティション（AMD 協賛）にて Web スクリーンセーバー部門優秀賞を受賞し、同年より国内外での展示を開始。2008 年以降は、グラフィック専門誌やデザイン書籍への寄稿・執筆を多数手がける。

2011 年にはテクニカルアーティストとしてゲーム開発に参加し、2013 年には独立系スマートフォンアプリ事業を開始。現在に至るまで、累計 5,000 万ダウンロードを超え、月間 AU 300 万人超のユーザーに支えられながら、開発・グローバルマーケティング・運営を継続している。

2019 年よりグラフィックアート制作を本格的に再開し、欧州・アジア・米州を中心に国際展への出展を活発化。作品は、人間の意識、美、崩壊の狭間にある象徴的世界を描き出し、夢と現実の境界を詩的にたどる。

2021 年以降、A’ Design Award、Fondazione Effetto Arte、Contemporary Art Collectors、ITSLIQUID Group など、世界各国の芸術機関から受賞多数。近年では、ギリシャの The Consulate of Humanitarian & Culture による Award of Achievement や、Luxembourg Art Prize における Meritorious Service to the Arts Award などを受け、国際的評価をさらに確かなものとしている。

代表的な展覧会には、LA Art Show（ロサンゼルス）、Ansan International Photo Festival（韓国・安山）、RenovArt Project（イタリア・マテーラ）、Rome International Art Fair（イタリア・ローマ）などがある。作品は 365 Art+ Magazine、Le Musée Plus Magazine、The Best Contemporary Masters、Imago、Anthology – The Last Decade 2015–2025 など、多数の国際誌に掲載されている。

アートとテクノロジーの両領域を架橋し、デジタルと詩的感性の狭間に宿る表現を追求し続けている。その創作は、繊細な共感覚と静かな神秘性が共存する、静謐で超現実的な世界を立ち上げる。

CAREER

職歴

- 創業者／リードデベロッパー（独立アプリ事業）、2013年–現在：累計5,000万DL、月間300万人超。開発、グローバルASO、経営統括を担当。
- テクニカルアーティスト（ゲーム開発）、2011年：制作統括。
- クリエイター（Web／UX、プログラミング、グラフィック）、2005年–現在：UX／UI設計から実装まで一貫して担当。2008年以降、寄稿多数。
- プログラマー／SE（株式会社NTTデータ）、2002年：基幹システムの設計、実装。
- DTPオペレーター（株式会社国和システム）、2000年：プリプレス、レイアウト、制作。

AWARDS

受賞歴

2025-2026年	DAC – Design Classifications「世界14位（World’s 14th Best Designer）」選出（A’ Design Award 主催）
2026年	POPDES 世界ランキング #115 選出（A’ Design Award 主催）
2025年	Award of Achievement（ギリシャ・ハニア 人道文化領事館 主催）
2025年	The New Great Masters in New York（Fondazione Effetto Arte 主催）
2025年	W* Recognition（A’ Design Award 主催）
2021-2025年	Meritorious Service to the Arts Award（Luxembourg Art Prize 主催・5 年連続受賞）
2024年	Phoenix for the Arts（Fondazione Effetto Arte 主催）
2024年	Global Art Virtuoso Award（Contemporary Art Collectors 主催）
2023年	Harmony for Humanity Art Prize（Contemporary Art Collectors 主催）
2023年	Career Art Award（Fondazione Effetto Arte 主催）
2023年	The Genius of Italy – ミケランジェロ国際芸術賞（Fondazione Effetto Arte 主催）

2023年	A’Design Award Golden Award（写真・フォトマニピュレーション部門）
2022年	第12回 ITSLIQUID International Contest 栄誉賞
2022年	BEST COVER ARTIST AWARD（365 Art+ Business Magazine 主催）
2022年	A’Design Award Iron Award（グラフィックデザイン部門）
2022年	第11回 ITSLIQUID International Contest 栄誉賞
2021年	ARTIST OF THE YEAR（ITSLIQUID Group 主催）
2006年	MTV SO-ZO Competition supported by AMD『Webスクリーンセーバー部門』優秀賞受賞

EXHIBITIONS

展覧会歴

2026年	Rewrite（JAPONICA-JAPONICA／東京芸術劇場 ギャラリー2／日本・東京）
2026年	A Beautiful Horizon（European Museum of Modern Art〔MEAM〕／スペイン・バルセロナ）
2025年	Ansan International Photo Festival（Ansan Culture & Arts Center／韓国・安山）
2025年	KINTSUGI（M.A.D.S. ART GALLERY／イタリア・ミラノ）
2025年	TRACES OF DREAMS（M.A.D.S. ART GALLERY／イタリア・ミラノ）
2024年	LA ART SHOW - Los Angeles Art Market（Fondazione Effetto Arte／アメリカ・ロサンゼルス）
2023年	International Good Design Exhibition（A’Design Award／イタリア・ローマ）
2023年	ENIGMI（Arte Borgo Gallery／イタリア・ローマ）
2023年	RenovArt	Shapes of Nature（ApuliaAste／イタリア・マテーラ）
2023年	CENSORED（M.A.D.S. ART GALLERY／イタリア・ミラノ）
2023年	RenovArt	Panta Rhei（ApuliaAste／イタリア・マテーラ）

2023年	RenovArt	Flowing Identities（Spazio Opera Gallery, ApuliaAste／イタリア・マテーラ）
2023年	FROM THE DISTANCE（VAN GOGH Art Gallery／スペイン・マドリード）
2023年	RenovArt	Flowing Identities（ApuliaAste／イタリア・マテーラ）
2023年	artbook事務局ギャラリー（株式会社トベル／日本・恵比寿）
2023年	Paris 2023 International Contemporary Art Fair（VAN GOGH Art Gallery／フランス・パリ）
2022年	BRAIN CAKE 2022（M.A.D.S. ART GALLERY／スペイン・バルセロナ／カサ・ミラ）
2022年	ADRENOCROMO FOR DINNER 2022（M.A.D.S. ART GALLERY／イタリア・ミラノ＆スペイン・カナリア諸島）
2022年	WE CONTEMPORARY CATALOG & ART SHOW（MUSA International／イタリア・ローマ）
2022年	RenovArt	100 Artists for the Future（11月展／ApuliaAste／イタリア・マテーラ）
2022年	GUARDIANS OF DREAMS 2022（M.A.D.S. ART GALLERY／イタリア・ミラノ）
2022年	LONDON CONTEMPORARY 2022（ITSLIQUID Group／イギリス・ロンドン）
2022年	PRETTY PERV 2022（M.A.D.S. ART GALLERY／イタリア・ミラノ＆スペイン・カナリア諸島）
2022年	International Digital Art Exhibition（VAN GOGH Art Gallery／スペイン・マドリード）
2022年	ORIZZONTI TRASVERSALI 2022（M.A.D.S. ART GALLERY／イタリア・ミラノ）
2022年	CONTEMPORARY VENICE 2022（ITSLIQUID Group／イタリア・ヴェネツィア）
2022年	RenovArt	100 Artists for the Future（7月展／ApuliaAste／イタリア・マテーラ）
2022年	International Contemporary Art Fair Monaco 2022（VAN GOGH Art Gallery／モナコ公国）
2022年	LIQUID ARSENAL 2022（M.A.D.S. ART GALLERY／イタリア・ミラノ）

2022年	RenovArt | 100 Artists for the Future（ApuliaAste／イタリア・マテーラ）
2022年	ROME INTERNATIONAL ART FAIR 2022（ITSLIQUID Group／イタリア・ローマ）
2022年	VIFAF 2022 - Virtual International Fine Art Fair（World Of Crete／ギリシャ・クレタ島）
2022年	Avant Garde Exhibition（Virtual Artists／イギリス・ロンドン）
2022年	NFT - NEW FREEDOM THINK 2022（M.A.D.S. ART GALLERY／イタリア・ミラノ）
2022年	CANVAS INTERNATIONAL ART FAIR 2022（ITSLIQUID Group／イタリア・ヴェネツィア）
2022年	I THE WORLD REVOLVES AROUND ME（M.A.D.S. ART GALLERY／イタリア・ミラノ＆スペイン・カナリア諸島）
2022年	THE BODY LANGUAGE 2022（ITSLIQUID Group／イタリア・ヴェネツィア）
2021年	SACRIFICE 2021（M.A.D.S. ART GALLERY／イタリア・ミラノ）
2009年	Larotica II 展（GALLERY ART POINT／日本・銀座）
2008年	JAGDA in OSAKA 2008「Another Japan」オープニングムービー上映（日本グラフィックデザイナー協会／日本・大阪）
2006年	J-Passion Vol.1 展（PH Gallery／アメリカ・ニューヨーク）

PUBLICATIONS

掲載誌・書籍

2026年	Le Musée Plus Magazine Vol. 3 (Le Musée Plus)
2026年	365 Art+ Mars City Project Vol. 1 (365 Art+ Business Magazine)
2025年	「Peace / 平和」各国メディアへの多言語掲載（Color Discovery ネットワーク・World Design Review ほか）

2025年	「Peace / 平和」紹介記事（Dizaino Forumas・リトアニア）
2025年	ANTHOLOGY THE LAST DECADE 2015-2025（M.A.D.S. ART GALLERY）
2025年	Le Musée Plus Magazine Vol. 2（Le Musée Plus）
2025年	Imago / Imago 2 (Galleria Tilde)
2024年	Digital Art Creators（365 Art+ Business Magazine）
2024年	Le Musée Plus Magazine Vol. 1（Cover Feature, Le Musée Plus）
2024年	365 Art+ Business Magazine Case 74 — Lavinia de Rothschild Fine Art Part 2（表紙制作）
2024年	People Creating the 21st Century（365 Art+ Business Magazine）
2024年	The Best Contemporary Masters 2024（Fondazione Effetto Arte）
2024年	The Luxury Collection of Contemporary Artistry（Contemporary Art Collectors）
2023年	WORLD ART GUIDE 2023（Bellamonti Art）
2023年	PHOTOGRAPHY IN THE VISUAL CULTURE（MUSA International）
2023年	AATONAU 特集記事「Masaki Hirokawa: Mastering the Art of Graphic Collage」（AATONAU）
2022年	WE CONTEMPORARY INTERNATIONAL ART CATALOG（MUSA International）
2022年	ART ANTHOLOGY V: MADRID EDITION（Guto Ajayu Culture）
2022年	Goddessarts Magazine
2022年	4me4you（アートマガジン）
	2021～2026年　365 Art+ Magazine（365 Art+ Business Magazine）
2020年	JaamZIN Creative Magazine 特別号（作品・インタビュー掲載）
2019年	ホットペッパービューティー 2019年7月号（リクルート）
2019年	大人のおしゃれ手帖 2019年5月号（宝島社）
2016年	自律神経を整えるスマホアプリ100選（技術評論社）

2014年	月刊 MacPeople 2014年7月号『人気＆注目のデベロッパーに聞く！スマホアプリの最新トレンド！』（アスキー・メディアワークス）
2013年	月刊 MacPeople 2014年2月号『iPhoneデベロッパーがいま考えていること』（アスキー・メディアワークス）
2010年	Photoshop × Illustratorで創り出す コラージュ＆イラスト（MdN）ISBN: 978-4-8443-6154-1
2010年	Photoshop 三ツ星テクニック大全（MdN）ISBN: 978-4-8443-6097-1
2009年	GADGET FOR DIGITAL NATIVE（MySpace From JP）
2009年	on View From JP.（MySpace From JP）
2008年	注目のクリエイターたちに学ぶ アート表現、プロの魅せ方・つくり方（MdN）
2008年	Photoshop Making Studio（MdN）

INFLUENCES

影響について

私が 16歳だった 1997年頃、当時まだ新しかったインターネットに強く心を惹かれ、それをきっかけに独学でウェブデザインを学び始めました。ネットという場を通して、国境を越えてデザイナー、プログラマー、アーティストの方々と出会えたことは、私の視野を大きく広げ、多分野を横断して物事を見る姿勢を形作って行きました。

一方で、より静かな継承もありました。私の両祖父は共に宮大工として、社寺建築の建造や修復に携わっていました。そこから私は、形や空間は目に見えないものを受け止める器になり得ること、そして手を動かすことそのものが一つの信心であり得ることを、自然と受け取っていたのだと思います。この感覚は、私が一見アートとは無縁に見える分野で働いていた時期にも、ずっと根底に流れていました。

その後、私の歩みは基幹システム開発、インタラクティブムービー制作、グラフィックデザイン書籍の執筆、ゲーム開発、アプリ開発へと広がり、2019年からは改めてグラフィックアートに舵を切りました。同年の晩秋、東京・吉祥寺駅の夜空の下で、私は不思議な光の輪を目にしました。それは言葉を伴わない指示であり、どこかラテン語で語りかけられているような感覚でもあり、今後は視覚表現に心血を注ぎなさいと告げられているかのようでした。その体験が、象徴的で夢幻的な作品を一気に制作していく大きな転機となりました。

私は、自由で主権的な表現を貫いた画家レオノール・フィニに深い敬意を抱き、またエンジニア出身でありながら構造的で詩的な作品を作り上げたハンス・ベルメールの美意識にも強く惹かれています。これらの作家を最初に知ったのは澁澤龍彦氏の著作を通してでしたが、その世界観は若い頃の私に決定的な影響を与えました。なかでも最も大きな影響を与えてくれたのは、17歳の時にオンラインで出会った一人の指導者です。芸術とは高尚な特別のものではなく、本来は全ての人に開かれた自然な言語である——そのことを、彼は教えてくれました。

VISION

将来への展望

私の創作上の目標は、精神性と科学が接するところに立ち現れる「余剰次元」を視覚化することと深く結びついています。一般相対性理論や量子力学、因果集合論に触れながら、一方で最愛の祖父母が大切にしていた仏教の信仰にも改めて向き合うことで、この関心は少しずつ育まれてきました。

作品を通じて、聖なるものと世俗的なものとの断絶を少しでも和らげ、人と自然との細やかな結びつきを回復させたいと考えています。自然の象徴、人間の哲学的な思考、そして現代科学のイメージを視覚的な物語として織り上げることで、内に潜む聖なる次元が、私たちが生きる広い世界と対話できるようにしたいのです。

要するに、私の作品が、これら幾つもの領域のあいだに静かに立つ仲立ちとなり、作品を観てくださる方々が、自分自身と宇宙のより深い層に触れるきっかけになれば、それが私の創作の役割だと考えています。

FOR THE NEXT GENERATION

子どもたちに見せる世界

この願いは、同時にとても個人的なものでもあります。今は離れて暮らす子どもたちの父として、また転居や別離、様々な困難をくぐり抜けてきた者として、私は、芸術とは次の世代に温もりと強さ、そして美しさを託して行こうとする、一生を懸けた誓いの形なのだと感じています。言葉は時に不器用ですが、作品は、たとえ離れていても、世代と世代、言葉と言葉、内なる世界と外の世界を静かに結び直す架け橋になり得ます。

CONTACT

Contact

e-mail	masakihirokawa@gmail.com
Official Website	https://dolice.net
Art Portfolio	https://dolice.design
LINE (ID: dolice)	https://line.me/ti/p/I3jdMBmSMt
WhatsApp	https://wa.me/819083161981
Phone	090-8316-1981

ソーシャル

Social Networks

Instagram	https://instagram.com/dolice
Facebook	https://facebook.com/dolice.masakihirokawa
LinkedIn	https://www.linkedin.com/in/dolice/
X	https://x.com/dolice

D

本書は dolice.net の公式資料です。最新版は dolice.net からご確認いただけます。